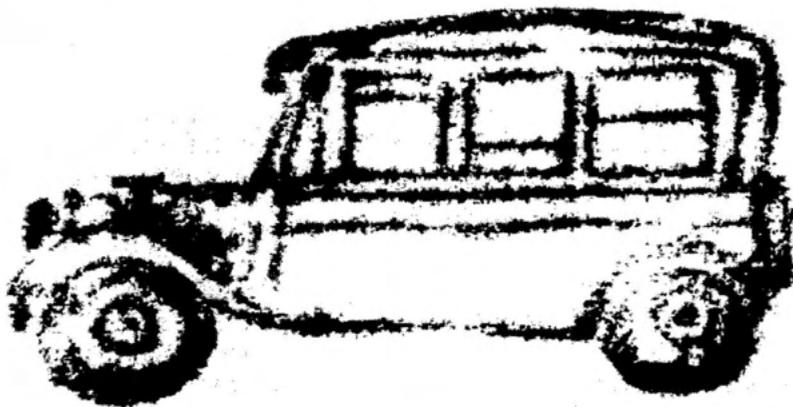




# 流星



## 流星 第30号 (OB会誌17号)

題字 河村 先生(元部長・故人)  
イラスト 伊東 (44)

目次

巻頭言

所感

新主将挨拶

新OB連絡委員挨拶、部員名簿

新入部員挨拶

現役報告 平成30年度自動車部活動結果報告、2019年度自動車部活動計画

現役報告 第56回ACK・KIT北九州ラリー詳報

現役報告 全日本エコドライブチャンピオンシップ2018

現役報告 平成30年9月2日現役・OB交流会報告

現役報告 部車購入に関する支援について(御礼)

現役支援活動 現役支援サポート隊の取り組みについて

現役支援活動 OB会部活動援助費 会計報告

現役支援活動 平成30年9月2日現役・OB交流会報告

OB会 平成30年度活動報告

OB会 平成30年度決算報告

OB会 会計監査報告

OB会 平成31年度活動計画

OB会 平成31年度予算

OB会 平成30年度会費、部活動援助費、OB会カンパ振り込み状況

特別企画 第10回OB会総会(2019/10/12.13)のご案内

寄稿 「京都と車と私」

寄稿 奈良・飛鳥の地散策

寄稿 モータースポーツ人生の始まりはKIT自動車部にあり

寄稿 日産ヘリテージコレクションを訪問して

会員名簿(物故者含む)

編集後記

部顧問	森	教授	2
会長	木村	(36)	3
新主将	原田	(2年)	4
OB連絡委員	大出	(2年)	4
第56代ラリー委員長	木藤	(3年)	12
今澤	(3年)	橋本 (2年)	13
高木	(3年)		15
現役交流担当	山下	(H1)	18
現役交流担当	山下	(H1)	20
	白水	(57)	21
事務局	中西	(50)	22
会計	武地	(51)	23
会計監査	田中	(45)	24
事務局	中西	(50)	24
会計	武地	(51)	25
九州地区幹事	伊東	(44)	27
	中原	(39)	28
	木庭	(43)	30
	坂井	(52)	31
	早田	(54)	33
			34
			35

【重要】事務局からのご協力お願い：

OBの皆様との効率的な連絡・情報交流と通信費用削減のため、Emailアドレスの新規登録並びに時宜を得た更新登録に皆様のご協力をお願いいたします。連絡先は、35ページをご参照ください

### 1. はじめに

この度、顧問を平木先生より引き継ぎました森と申します。栄光ある部活動である自動車部の顧問は重責であると認識する次第であります。本学に着任して5年目と未熟な面も多々ありますがよろしくお願ひします。

### 2. 自己紹介

あと1年半で還暦を迎える、団塊の少し下の世代です。生まれは長崎県の西端部、FENで洋楽を知ったものです。学生時代はサイクリング部でした、丁度隣の部室が「自動車部」で、連日整備や筋トレ、ランニングを行っており、正にザ・体育会という雰囲気でした。当方の「山で温泉、地酒を楽しむ」という退廃的な部活とは大違いだった記憶があります。当時は絵に描いたような、貧乏学生だったので自動車を保有するとか、運転するとか夢の時代でありました。とにかくお金が無かったので山へのアプローチが自転車、山麓から登山するスタイルでした。そんな小職がまさか自動車部の顧問に就任するとは！というのが率直な感想です。

就職先は三河の某自動車部品メーカーでした。配属先は生産技術部で、主に機械設備の設計や企画と立ち上げがメインです。当時の生産現場には炭鉱離職者が多数おられて、九州弁でよく叱られておりました。自分の父親みたいな方々から目から火が出るくらいに、時には図面や工具が飛んでくるような日々でした。(現在からはとても想像できない労働環境でした)家庭の諸事情もありまして、筑豊の町工場へ転職しました。ここは正にオーナー企業によくある独裁的な指導者の企業でした。そこでは様々な経験を積ませて頂きました。その後は行政機関を経て社会人ドクターとかを経て本学へ赴任した次第であります。

### 3. 学生部活動の実態と傾向

顧問に就任するにあたり、最近の学生部活動の傾向を自分なりにまとめてみました。

・きつい、厳しい部活動は敬遠される

これはOBの皆様も十分にお察しされていることかと思う点であります。かつて同級生が所属していた「山岳部」「ワンダーフォーゲル部」等々の部活動は全国的に衰退あるいは、存続していない状況であります。この背景には上下関係、

体力強化、しきたり、その他への拒絶反応があるうかと考えられます。

・学修環境の変化

以前と異なり、現在は各教員へ学生が1年生から指導担当となり割り当てられております。そこで講義に3回欠席する、成績が振るわないとなると学生担当から指導の依頼があります。このような状況なので部活動に「入れ込む」学生は減少傾向にあります。

### 4. 今後の対応

顧問に就任して、最初の仕事は事務方からのクレーム処理に関する業務でした。ここで感じたことは「周囲の部活動、モータースポーツに関する見方が厳しい」というものです。最近の住宅やマンショントラブルと同様に「騒音」「異臭」「照明」その他への規制が厳しくなっております。部の幹部にはこのような状況を説明した上で

- ・クレームには「直ぐに」動くこと
- ・全員で問題を共有すること
- ・厳しい目で見られていること
- ・危険なスポーツに関わっているので、安全を優先すること等々を伝えました。

部活動には逆風が吹いておりますが「学生ファースト」でご指導とご鞭撻をお願いする次第です。



普段は、工場(ものづくり支援センター、実習工場A棟)に居ります。写真は、学生向けの教材変速装置のカットモデルです。

## ラリー競技事始め

自動車部 OB 会会長 木村 ( 36 )

私は昭和 32 年 に入りました。同期は 5 学科、160 名余りで、今考えると学生一人当たりの観点で見て、教授陣、設備、予算等多分日本一贅沢な大学であったと思います。この新入生うちの 3 分の 1 近くが、自動車部入部を希望しました。入部希望の動機は運転免許証の取得、自動車メカへの興味等が多かったと思います。入部希望者は、2 週間の講義を受け、試験に合格した 20 数名が入部を認められました。部活動の中心は、車の整備（特に彗星号の 6 か月ごとの車検取得は最大のタスク）、流星号による運転免許取得訓練、部活動費捻出のための荷物運搬、年 1 回の九州一周遠征等で、対外的な活動は他の大学祭参加位でした。

私は、割合熱心に車庫に通い油にまみれたせいか、2 年生になると、忘身寮の部室に移ることとなり、副幹事（副主将）に指名されました。6 月に同期の内 10 名が運転免許試験を受け、幸い 1 度で合格しました。

3 年生になると幹事（主将）に指名されました。この頃より、全日本学生自動車連盟加入の話が持ち上がりました。当方よりの九州地区大学の一括加入の希望に対し、先方からは、各大学の活動状況を見たうえでの、個別加入の意向が伝えられ、話は中断しました。その後、対応措置として、熊大の発案で「西日本学生自動車連盟」を結成し、これに 11 大学が参加しました。その第 1 回行事として、昭和 34 年 8 月に「九州一周ラリー」を開催することになりました。九大が当番校となり、福岡大濠公園出発、九大工学部ゴールのタイムラリーでした。そもそもラリー競技は初めての経験の上、真夏の暑さの中競技車のクラウンにはクーラーなし、当時はほとんどが未舗装道路で、砂煙を上げて走り、手回しのタイガー計算機でナビしながらも、無事完走しました。成績は中位でしたが、よい経験になりました。

その後、この実績を認められ、全日本学生自動車連盟から、九州地区 11 校の一括加入が認められたのです。

翌 35 年 8 月には、全日本学生自動車連盟九州支部主催、朝日新聞社等後援の、「第 1 回九州学

生自動車ラリー」が開催されました。当番校は九州工大で、8 月 23 日小倉市民会館スタート、28 日九州工大ゴールの九州一周タイムラリーで、11 校が参加しました。九州工大は、僅差で久留米大に後れを取り 2 位でした。

この後、12 月の大阪、東京耐久レースの審判や、翌年からの日本 1 週ラリーに参加することになり、ラリー競技を活動の主体とする、現在の部活動に繋がっていったのです。長年部活動の中心的存在であった彗星号は、度重なるエンジンシリンダーの再ボーリングや、スリーブ入れを経て、天寿を全うし 35 年に、流星号は、36 年にスクラップとなりました。

振り返ると、あれから半世紀以上が経過しています。太閤殿下の辞世の句、「〇〇の事も夢のまた夢」、の感一入のものがああります。皆さんのラリー活動のルーツ（事始め）、を思い出し、思い出しながら、書き記してみました。

最後になりましたが、自動車部顧問の先生が、平木先生から森先生に交代される、との連絡をいただきました。平木先生、長きにわたり、現役部員のご指導有難うございました。また、OB 会誌の巻頭言の、示唆に富む名文、楽しみにしておりました。これからも、折に触れ、現役学生に、暖かいお心遣いをお願いします。森先生には、ご経験を生かして、これからの自動車部の、長期的な発展に向けて、御指導の程よろしくをお願いします。

以上

## 新主将挨拶

2年 原田

この度、第79代主将を務めさせて頂くことになりました、二回生の原田と申します。歴史ある自動車部の主将という役職に選ばれ、大変名誉に思っております。

自動車部では一年間に、ラリー主催や学生大会、工大祭における出店等、様々な行事を行っております。そのような行事の一つ一つにおいて、新幹部五人で情報を共有し、綿密に話し合うことで、滞りなく行事を進めていきたいと思っております。

また、学生大会やエコドライブチャンピオンシップ等、自動車部の名前で参加する競技において、良い結果をご報告出来るように、部員全員で励み、協力して行きたいと思っております。

私自身、未熟者ではありますが、先輩方が築き上げてきた自動車部を、更に楽しく、更に強い部活動に発展させて行きたいと思っておりますので、今後とも先輩方のご支援とご協力を、よろしくお願い致します。



## 新 OB 連絡委員挨拶

2年 大出

この度新幹部として主務を務めさせて頂きます、2回生の大出と申します。主務ということで先輩方とは直接の関わりが多い役職ですので、至らない点もあると思っておりますがよろしくお願い致します。現役と先輩方との関係がよりよくなるよう努力して参ります。

また、今年度からラリー委員長は指名せず、幹部学年4人全員で協力して進めることとなりましたので、一丸となって伝統あるラリーをよりよくできるような頑張りたいと思っております。主務、また幹部学年として今まで以上に部の発展に貢献できるように精進いたします。よろしくお願い致します。



## 部員名簿 (2018.11現在)

部員名簿							
	役職	学科・学年	氏名		役職	学科・学年	氏名
1	監督	3	今澤	11		M1	金粕
2	主将	2	原田	12		M1	近藤
3	副主将	2	横手	13		4	霧
4	会計	3	川野	14		3	甲斐
5	主務・OB連絡委員	2	大出	15		3	高木
6	学連	M2	有川	16		2	重富
7	学連	2	渡邊	17		2	橋本
8	学連	1	箕輪	18		1	豊村
9		M2	中野	19		1	林
10		M1	河本	20		1	吉田

# 新入部員挨拶

写真	所属・氏名	挨拶
	<p>豊村</p>	<p>私が自動車部に入部したのは、幼少期から車が好きで、大学在学中なにをしようかと考えた時に自動車部を選びました。モータースポーツといえば、ゲームやTVなどで見るようなものを想像していましたが、ジムカーナなど身近なモータースポーツがあると伺い、興味が湧きました。これからは知識と技術を磨いていきたいと思います。</p>
	<p>林</p>	<p>初めまして、1年生の林です。私は小さい頃から車が好きで、自分で整備したり、乗ったりしたいと思っていました。自動車部の存在は入学するまで知りませんでしたが、先輩達の説明を聞いて、これだ！と思い、入部しました。これからは自分で整備をしながら、ジムカーナやラリーに出たいと思っています。</p>
	<p>箕輪</p>	<p>自分がこの自動車部に入ったきっかけは、高校ではできないことを何かしてみたいという興味本位で入ったのがきっかけです。正直車のことについてはまだ全然知らないことだらけですが、少しずつ学んでいきたいと思っています。よろしくおねがいします。</p>
	<p>吉田</p>	<p>私が自動車部に入ったきっかけは、仲の良い先輩に誘われ見学に行き、自動車部のゆったりしつつ、気合いを入れるところは気合いを入れる態度など、趣味に没頭する姿をみて、先輩方から色々なことを学んで自分を高めたいと思い入部することを決めました。</p>

# 平成30年度自動車活動結果報告

## ◎平成30年度 自動車部年間スケジュール

H30年	4月	新入生勧誘 体験入部開催
	5月	全日本学生自動車連盟九州支部ダートトライアル大会参戦 2018 ACK スプリングラリー開催
	6月	新入生歓迎コンパ開催
	7月	全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ（春季）参戦
	8月	全日本エコドライブチャンピオンシップ 2018 参戦
	9月	部内旅行 恋の浦 CUP 2018 参戦 OB 総会参加
	11月	第56回 ACK・KIT 北九州ラリー開催 工大祭（模擬店出店） 学内マラソン参加 幹部交代式
	12月	全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ（秋季）参戦
H31年	3月	追い出しコンパ（予定）

## ◎本年度の主な活動内容

### 1. 新入生体験入部

本年も4月に新入生を対象に実際にカートに乗って走る、「体験入部」を実施しました。また、車庫前のフィギュア（自動車運転競技会）練習場での運転体験の実施や競技車両の展示を行いました。その結果4名が新たに入部しました。今後も継続して部員数増加を目指した活動を続けていきます。



新入生体験入部（カート走行会）

## 2. 全日本学生自動車連盟九州支部（以下、学連）が主催する

### ジムカーナ・ダートトライアル大会への参戦

今年度はダートトライアル1戦、ジムカーナ2戦が開催されました。各大会での成績は下記の通りです。

H30 全九州学生ダートトライアル選手権大会	団体の部	第2位 / 4校中
H30 春季全九州学生ジムカーナ大会	団体の部	第2位 / 8校中
H30 秋季全九州学生ジムカーナ大会	団体の部	第3位 / 6校中

なお、当部から4名の連盟委員を派出し、学連の運営に携わっています。また、選手以外の部員はオフィシャル（競技役員）として、全員が大会に参加しています。



全九州学生ダートトライアル大会 団体の部 第2位



全九州学生ジムカーナ大会 団体の部 第2位（春季）

## 3. 全日本エコドライブチャンピオンシップ 2018 への参戦

(8月20日鈴鹿サーキットにて)

昨年度に続いて本年度も全日本学生自動車連盟と環境省が共同で開催している全日本エコドライブチャンピオンシップに参戦しました。参加メンバーはドライバー；今澤(3年)、重富(2年)、橋本(2年)、ナビゲーター；林(1年)、木藤(3年)、豊村(1年)、応援・ヘルパー；鶴(4年)、近藤(修士1年)、原田(2年)の計9名です。

競技は、ドライバーとナビゲーターの二人一組でハイブリッド、ガソリン、EVの3つのラウンドをそれぞれ別の車種で走行し、燃費とタイムを点数化した合計点の総合点で競い合いました。本年度大会ではトヨタ アクア、日産 リーフ、ホンダ フィットの3車種を用いて競技を行いました。

その結果、学生自動車部クラス 7位 / 34 チーム中  
総合成績 18位 / 58 チーム中

という結果で幕を閉じました。来年度は、一昨年度の優勝や、昨年度の3位のような優秀な成績を修めるために、より走りの研究、分析に尽力していきます。

また、今大会では、お忙しい中、多くのOBの方々に応援に足を運んでいただきましたことを心から感謝申し上げます。

なお、大会に向けた準備として、日ごろから当部の活動にご協力いただいているカーディーラー様のご協力で、使用される車両に慣れるため、実車の試乗および車の特徴をレクチャーして頂きました。重ねて感謝申し上げます。



チャレンジラウンド(スタート前)



サーキットラウンド

#### 4. 第 56 回 ACK・KIT 北九州ラリーの主催

JAF 九州地域クラブ協議会の競技開催カレンダーの変更に伴い、KIT ナイトラリーは、H28 年シーズンより JAF 九州ラリー選手権/JMRC 九州ラリーチャンピオンシリーズに昇格となりました。第 56 回大会はシリーズ第 7 戦、SS ラリー形式のデイラリーとして、H30 年 11 月 18 日に福岡県築上郡築上町内において、29 台の参加を頂き開催しました。

本競技会は従来通り学連の全九州学生チャンピオンシリーズのラリー部門代替競技会となります。



ゴール後の表彰式の様子

#### 5. 北九州オートクラブ (ACK) が主催するラリーの準備と運営

JAF 加盟クラブ 北九州オートクラブ (ACK) の主要メンバーとして 5 月に開催した 2018 ACK スプリングラリーの事前準備および競技会運営全般を担当しました。

#### 6. 恋の浦 CUP ダート 2018 への参戦

スピードパーク恋の浦で行われた 2 時間のダート耐久戦に部車のフィットで九工大自動車部として参戦しました。慣れないダートコースでさらに耐久戦ということもあり、例年参加しているジムカーナなどとは一味違った楽しさがありました。

今後も継続的に参戦していく予定です。

#### 7. オートポリスで行われるレース、他クラブの主催するジムカーナ・

#### ダートトライアル・ラリー等のオフィシャル (競技役員) 活動

例年、オートポリスサーキットの協力団体として、SUPER FORMULA、SUPER GT、およびゴールドカップレース等にオフィシャルとして参加しております。また、地元で開催された全日本ラリー、全日本ジムカーナ、全日本ダートトライアルや、他クラブ主催のジムカーナ、ダートトライアルの地区戦等にも、例年通りオフィシャルとして運営に協力しております。

## 8. 日常の部活動

日常の部活動として、車庫前におけるフィギュア（自動車運転競技会）の練習、部車および部員車両の整備を行いました。



部車の整備風景

## 9. JAF 公認競技会への参加(個人)

H30年度は金粕(修士1年) および今澤(3年)が、JMRC九州ジムカーナジュニアシリーズに参戦し、それぞれB-FF1クラス シリーズ4位および5位という成績でした。また、JMRC九州ラリーチャレンジシリーズ1クラスには、河本(修士1年、ドライバー)/横手(2年、ナビゲーター)が参戦しており、今年度のクラスチャンピオンに輝きました。

## 10. 工大祭、学内マラソンなどの学内行事への参加

例年、工大祭では模擬店を出店しています。毎年好評をいただいているたこ焼きを販売しています。価格は1パック8個入り100円の衝撃価格です。今年も行列ができていました。



工大祭での模擬店の様子

また、学内マラソンにも参加しています。仮装区間が設定されており、今年も1年生がレーシングスーツとヘルメットで学内を走りました。

## 2019 年度自動車部活動計画

### ◎2019 年度自動車部活動計画

- 2019 年 4 月 ・新入生勧誘  
・ダートトライアル選考会兼練習会  
・体験入部（カート走行会）
- 5 月 ・全日本学生自動車連盟九州支部ダートトライアル選手権大会  
・2019 ACK スプリングラリー 開催  
（JAF 九州選手権第 3 戦、JMRC 九州 CH シリーズ第 3 戦）  
・ジムカーナ選考会兼練習会
- 6 月 ・全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ選手権大会（春季）  
・新入生歓迎会
- 8 月 ・全日本エコドライブチャンピオンシップ 2019（鈴鹿サーキット）
- 9 月 ・部内旅行
- 10 月 ・全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ選手権大会（秋季）  
・第 57 回 ACK・KIT 北九州ラリー 開催予定
- 11 月 ・工大祭（大学祭）  
・幹部交代式
- 12 月 ・学内マラソン大会
- 2020 年 3 月 ・追い出しコンパ

以上

### 現役九州工業大学自動車部 FaceBook 紹介

<https://www.facebook.com/kyutech.ac315/>

現役が日頃の健闘ぶりを内外に広く発信して、

「広報」と「マーケティング」を目的に双方向に  
運用しています。（管理者：金粕雅史 修士 1 年）

FaceBook のアカウントなくとも閲覧は可能です。

## 第 56 回 ACK・KIT 北九州ラリー詳細

第 56 代ラリー委員長 木藤 (3年)  
第 78 代主将 今澤 (3年)

2018 年 11 月 18 日の第 56 回 ACK・KIT 北九州ラリーが無事終了いたしましたので報告します。

今年は台風の影響で前年度まで使用していた小倉南区の林道貫山線が使用できず、開催場所を築上郡築上町の林道真妙寺線に移し、総距離 110km で行いました。

今年から TC ラリー(タイムコントロールラリー)として開催しており、JAF九州ラリー選手権第7戦、JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ第7戦、JMRC九州ラリーチャレンジシリーズ第7戦として 11 月開催いたしました。

平成 30 年 7 月豪雨の影響で前回までの林道が使えなくなり開催場所を変更した為、エントラントの方が集まるか心配しておりましたが、29 台のエントラントの方が来て下さり、学生の方も多く大変嬉しく思っております。

当日は後半セクションから小雨が降る天候となりましたが、大きな事故もなく無事に競技の進行をすることが出来ました。

今回のラリーでは、私どもが初めて使用する林道ということで、豊前警察署から道路の使用許可をなかなか頂けず、一時は大会を延期せざるを得ないという状況になりましたが、徳尾慶太郎さんをはじめとする ACK の皆様並びに OB の皆様に全面的にご協力して頂き、今年も無事に開催することが出来ました。関係者皆様に心より御礼申し上げます。

来年で第 57 回となります。次回は来年の 10 月に選手権として、今回と同じ林道神妙寺線での開催を予定しております。今年の反省を生かしつつ、皆様に満足して頂けるようなラリーを作りますので、今後とも皆様どうぞよろしくお願い致します。



サービスパークの様子

## 全日本エコドライブチャンピオンシップ 2018

今澤 (3年)、橋本 (2年)

2018年8月20日(月)に鈴鹿サーキットにて開催された全日本エコドライブチャンピオンシップ2018に参加して参りました。参加メンバーは近藤(院1年生)、靄(4年生)、今澤・木藤・重富(3年生)、横手・原田(2年生)、豊村・林(1年生)の9名です。ドライバーとナビゲータの二人一組で全3ラウンドをそれぞれ最新のエコカーで走行し、燃費(電費)とタイムの合計ポイントによって順位を競いました。

本レースは、環境省が推進する国民運動「COOL CHOICE」の一環として自動車関連団体と連携し、自動車レースの聖地である鈴鹿サーキットで本レースを開催することで、学生および全国のエコドライブトップランナー企業・自治体が、普段のエコドライブの技術や成果を競い合う場として、燃費が良く、CO2および交通事故削減に寄与する「エコドライブ」の全国的なムーブメントをつくることを目的としています。

競技内容としては、鈴鹿サーキット国際レーシングコースを用いて、主催者にて準備した車両(3車種)を、車種毎に異なったコースをそれぞれ走行。燃費(200ポイント満点)とタイム(100ポイント満点)の3車種合計のポイントによって、順位を競います。

## 1st ステージ

車両： トヨタ アクア

ドライバー： 今澤/ナビゲータ：林

メインストリート上にてスタートし、本コースを6周走ります。アクアには減速時に充電しモータのアシストで走るEVモードがあります。燃費だけに的を絞った走りを目指し、ステージ順位は、60チーム中17位でした。

## 2nd ステージ

車両： ホンダ フィット

ドライバー： 重富/ナビゲータ：木藤

ピットガレージよりスタートし本コースを6周走ります。3車種のなかで唯一のガソリン車で、アクセルワークによるテクニックを競います。ステージ順位は60チーム中19位でした。

## 3rd ステージ

車両： 日産 リーフ

ドライバー： 橋本/ナビゲータ：豊村

ピットガレージよりスタートし本コースを6周します。燃費だけに的を絞った走りを目指しました。回生ブレーキを使つての走行が難しかったです。前が詰まってしまう、自分のペースを守るのに必死でした。ステージ順位は60チーム中25位でした。

以上3ラウンドの合計ポイントにより、学生クラスの順位は34チーム中7位、総合順位では18位となりました。今回は、3車種ともレーシングコースを6周する簡単なもので、作戦を立てずらく、燃費のみで戦うことしかできませんでした。また、常に60台がコース内で走っている状態なので自分のペースで走ることが難しかったです。

競技終了後には片山右京氏らのトークショーや参加者同士の意見交換会が行われ、今回の大会について振り返るとともに、興味深いお話を聞くことができました。今年度もトヨタ自動車（株）、日産自動車（株）、本田技研工業（株）、（株）モビリティランド、NOK（株）の各社の人事関係者も参加しており、各企業と学生との交流の場としての印象を強く受けました。

今回の全日本エコドライブチャンピオンシップの参加にあたり、部活動援助費を大切に使用させていただきました。ありがとうございました。OBの方々をはじめとする自動車部の皆様のご支援により参加することができた今回のエコドライブチャンピオンシップでの経験を活かし、運転技術の向上に努めて行きたいと思います。そして来年はこの悔しさをばねに、総合優勝を目標にし、継続して参加できればと思っています。

最後になりますが、現地まで応援に駆けつけて下さった中西さん、近藤さん、孝橋さんをはじめとするOBの皆様、試乗や運転指導をお願いさせて頂いた、福岡トヨペット（株）戸畑店、日産プリンス福岡販売（株）小倉店、（株）ホンダカーズ北九州三ヶ森店の各ディーラー様、その他各方面の皆様のご協力、ご支援、ご声援のお陰で学生の部7位という結果を残し、無事に競技を終えることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

以上



スタート前風景



2nd ステージ スタート直前の様子



競技中風景

## 平成 30 年 9 月 2 日現役・OB 交流会報告

高木 (3 年)

2018 年 9 月 2 日に九州工業大学の講義室にて現役・OB 交流会を行いました。現役からは、先月参加したエコドライブチャンピオンシップ 2018 の報告も含め、ここ 1 年間の活動報告をさせていただきました。また、30 分ほど車庫の見学をして頂き、その際に購入したミラージュ CJ4A、カローラレビン AE111 の部車の紹介もさせていただきました。その後、近くの居酒屋で、懇親会が執り行われました。たくさんの OB の方々と過去の自動車部のことや、これからの自動車部のことなどについてお話をできるいい機会でした。ご参加いただいた OB の方々、心より感謝申し上げます。

以下に現役・OB 交流会に参加した現役部員の感想を記します。

主将 3 年 今澤

この度の交流会では幅広い年代の大変多くの OB の方々に直接お会いすることができ、とても貴重な時間となりました。交流会では現在の部活動を知って頂くため、現役から活動報告をさせていただきました。その際の質疑応答の時間には OB の方々からたくさんのご意見、アドバイスを頂くことができ、より良い部活にしていくために部として又個人として、活動を見直す大変有意義な時間となりました。また、その後の懇親会では、お酒を飲みながら楽しく OB の方々の学生時代のお話や就職後のお話など様々なお話をさせていただきました。普段ではなかなか聞くことのできないお話をお聞きする事ができ、大変貴重な経験をさせて頂いたとともに、偉大な先輩方の姿に大変感銘を受けました。ご参加頂いた皆様本当に貴重な時間を過ごさせて頂きありがとうございました。

OB 担当 3 年 高木

この度の交流会では普段なかなかお会いすることができない OB の方々とお会いし、直接お話をすることができ、本当に有意義な 1 日となりました。交流会を通して昔の自動車部の姿や、過去のご活躍ぶりをお聞きすることができ、自動車部の長い歴史や、素晴らしい伝統に大変感銘いたしました。また、その後の懇親会では、多くの OB の方々とお酒を交えながら大先輩方の学生時代の学生生活のお話や、自動車部のお話、昔の車のお話まで今ではなかなか耳にすることのできない貴重なお話の数々をお聞きすることができました。普段絶対にできない貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。

1 年 豊村

今回の交流会で自動車部のとても長い歴史を知ることができました。そしてその後の懇親会では競技の詳しい技術や昔の自動車部の活動内容、大学生活のアドバイスなど楽しい雰囲気の中、色々と為になることを教わりありがたく思いました。

1 年 林

昔の自動車部のお話を聞いた時とても驚きました。今は部員達が自分の車をもってたりしますが、部車もきちんと扱わないといけないと感じました。また、OB の方々の学生じゃ乗れないような車のお話を聞くのもとても刺激的で、心が高まりました。現部員だけでなく、OB の方々が沢山おられるという事を再確認し、これからも関係を持ちたいと思いました。

以下に現役・OB 交流会の写真を掲載いたします。



## 部車購入に関する支援について（御礼）

平素は、私たち九州工業大学責善会自動車部の活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。先日、弊社からご依頼いたしました部車購入支援に関し、多額のご支援を賜り、誠にありがとうございました。ご支援いただきました援助金を用い、競技用車両2台を購入いたしました。購入いたしました車両は、練習や大会への参加で有意義に、また大切に使用させて頂いております。

早速、本年度の全九州ダートトライアル選手権および春季ジムカーナ大会において下記の成績を修めることができました。今後も部の発展のために日々精進して参りますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。最後に、車両購入のご報告が大変遅れてしまいましたこと、心よりお詫び申し上げます。

### 記

- ・ トヨタ カラーレビン AE111 ダートトライアル SC 車両 （購入金額 〇〇〇〇 円）



H30 年度全九州ダートトライアル大会

団体の部 第2位（参加4大学中）

- ・ 三菱 ミラージュ CJ4A ジムカーナ SC 車両（兼 ダートトライアル SC 車両）  
（購入金額 〇〇〇〇 円）



H30 年春季全九州学生ジムカーナ大会

団体の部 第2位（参加8大学中）

## 現役支援サポート隊の取り組みについて

-H29年10月～H30年9月実績-

OB会 現役交流担当 山下 (H1 )

計画 : H29年10月1日

中間報告 : H30年4月1日

最終報告 : H30年10月15日

(注記:「計画」は通常フォント、「中間報告」は斜字、「最終報告」(今回)は下線で表示しています。)

### H30年度の計画 (H29年10月～H30年9月)

①第56回 ACK-KIT Kitakyushu Rally 準備の支援 (H30年8月～H30年10月)

※H30年10月28日開催⇒H30年11月18日に延期

・コースおよび問題の監修

⇒8月より実施中 (S59 小川、H24 石原、他)

・官公庁届出対応

⇒8月より対応中 (S59 小川、H24 石原、他)

②第56回 ACK-KIT Kitakyushu Rally 当日支援

※H30年10月28日開催⇒H30年11月18日に延期

・事前案内 (10月初旬)

⇒現役部員より個別に電話連絡実施 (10月上旬)

・募集 (10月中旬)

⇒変更連絡メール (10月24日、H24 石原)

・最終確認とスケジュール連絡

⇒11月中旬予定

③ 新入生勧誘のフォロー

・展示車両の手配、貸し出し。

⇒部車および部員所有の競技車両展示のため、手配無し。

④ 競技参加支援

・活動援助金制度の運用 (H26年7月より運用開始)

⇒H29年10月22日 秋季全九州学生ジムカーナ選手権大会 (選手・応援者 計22名)

⇒H29年10月29日 九州ラリー選手権第7戦 R10 延岡 (吉岡、有川、河本、犬丸OB)

⇒H30年3月18日 九州ジムカーナ Jr. 戦第1戦 RC 熊本 (今澤、金粕)

⇒H30年3月24-25日 九州ラリー選手権第1戦 MCA (河本、横手)

⇒H30年4月21-22日 九州ラリー選手権第2戦 R10 延岡 (河本、横手)

⇒H30年5月4日 全九州学生ダートトライアル選手権大会 (選手・応援者 計21名)

⇒H30年5月26日 九州ラリー選手権第3戦 ACK (河本、横手、大出、重富、中野)

⇒H30年5月27日 九州ジムカーナ Jr. 戦第2戦 T-XT (今澤、金粕)

⇒H30年6月10日 九州ジムカーナ選手権第5戦 RASCAL (河本)

⇒H30年6月24日 九州ジムカーナ Jr. 戦第3戦 V (金粕)

⇒H30年7月14-15日 九州ラリー選手権第4戦 FMSC (河本、横手)

⇒H30年7月1日 春季全九州学生ジムカーナ選手権大会 (選手・応援者 計22名)

⇒H30年8月20日 全日本エコドライブチャンピオンシップ 2018 (選手・応援者計9名)

⑤ ラリー啓蒙

⇒H30年3月22日 追い出しラリー (クイズラリー) 実施 (現役主体)

⑥ 日常練習の活性化

・フィギュア練習の指導

⇒未実施

⑦ 親睦行事

- ・OB 交流会

⇒9月2日実施 (OB: 14名、現役: 16名参加)

- ・餅つき会 (H29年12月30日)

⇒例年通り開催

⑧ 卒業生のフォロー

- ・追出しコンパ

⇒H30年3月22日実施 (OB参加無し)

対象者; 漆原 ( ) M)、今門 ( ) M)、  
金粕 、河本 近藤

- ・卒業後の連絡先の把握

⇒漆原 就職先: アイシン・エイ・ダブリュ株式会社

⇒今門 就職先: 東陽建設工機株式会社

⇒金粕 九州工業大学 大学院進学

⇒河本 九州工業大学 大学院進学

⇒近藤 九州工業大学 大学院進学

⑨ 休眠OBの掘起し

- ・活動実績の送付

⇒未実施

以上

現役支援サポート隊の取り組みについて

-2018年10月~2019年9月計画-

OB会 現役交流担当 山下 (H1 )  
計画: 2018年10月1日

2019年度の計画 (2018年10月~2019年9月)

① 第56回 ACK-KIT Kitakyushu Rally 準備の支援/当日支援 (H30/11/18 開催に延期)

- ・官公庁届出対応
- ・最終確認とスケジュール連絡

② 第57回 ACK-KIT Kitakyushu Rally 準備の支援 (2019/10/27 開催予定)

- ・コースおよび問題の監修
- ・官公庁届出対応

③ 第57回 ACK-KIT Kitakyushu Rally 準備の支援/当日支援 (2019/10/27 開催予定)

- ・事前案内
- ・募集
- ・最終確認とスケジュール連絡

④ 新入生勧誘のフォロー

- ・展示車両の手配、貸し出し。

⑤ 競技参加支援

- ・活動援助金制度の運用 (H26年7月より運用開始)

⑥ 日常練習の活性化

- ・練習計画の策定と練習の補助

⑦ 親睦行事

- ・餅つき会 (H30年12月30日)
- ・OB会総会への参加 (2019/10/12 開催予定)

⑧ 卒業生のフォロー

- ・追出しコンパ
- ・卒業後の連絡先の把握

⑨ 休眠OBの掘起し

- ・OB会総会への参加案内

以上

## H29年度後期 OB会部活動援助費 会計報告

九州工業大学 自動車部

H29.10.1～H30.3.31

収入	金額	支出	金額
前期繰越		競技会出場援助費	
・通帳残高		・H29. 10. 21 現役OB総会参加交通費補助	
・手持現金		・H29. 10. 22 秋季全九ジムカーナ 22名	
H29.10.1 受取利子		・H29. 10. 28 ラリー チャレンジ戦 4名	
		小計	
		期末残高	
		・通帳残高	
		・手持現金 (H29.10.3 ¥10,833口座戻し済み)	
		小計	
合 計		合 計	

貯金通帳残高および支出記録に相違無いことを確認いたしました。

平成30年4月1日

明専・九工大自動車部OB会 現役支援担当 山下

## H30年度前期 OB会部活動援助費 会計報告

九州工業大学 自動車部

H30.4.1～H30.10.2

収入	金額	支出	金額
前期繰越		競技会出場援助費	
・通帳残高		・H30. 3. 18 ジムカーナジュニア戦 2名	
・手持現金		・H30. 3. 24,25 ラリーチャレンジ戦 2名	
H30. 4. 1 受取利子		・H30. 4. 21,22 ラリーチャレンジ戦 2名	
H30. 8. 16 OB会部活動援助費		・H30. 5. 4 全九ダートラ 21名	
H30.10. 2 OB会部活動援助費		・H30. 5. 27 ジムカーナジュニア戦 2名	
H30.10. 2 現役交流会費		・H30. 5. 26 ラリー チャレンジ戦 2名	
		・H30. 5. 26 ラリー チャンピオン戦ナビ 3名	
		・H30. 6. 10 ジムカーナダンロップクラス 1名	
		・H30. 6. 24 ジムカーナジュニア戦 1名	
		・H30. 7. 14,15 ラリーチャレンジ戦 2名	
		・H30. 7. 1 春季全九ジムカーナ 22名	
		・H30. 8. 20 EDC2018 9名	
		部車購入援助費	
		小計	
		期末残高	
		・通帳残高(10月2日)	
		・手持現金	
		小計	
合 計		合 計	

貯金通帳残高および支出記録に相違無いことを確認いたしました。

平成30年10月7日

明専・九工大自動車部OB会 現役支援担当 山下

## 平成 30 年 9 月 2 日 現役・OB 交流会報告

白水 ( 57)

去る 9 月 2 日(日)に九工大にて現役・OB 交流会が開催され、参加させて頂きましたので報告をさせていただきます。

昭和 44 年卒の大先輩の方から現役まで世代を超えて、自動車部という共通の話題で語り合え楽しいひとときでした。現役自動車部の活動報告では、新しく部車を購入されダートラ等で活躍されていました。福岡県福津市にある恋の浦で開催されたダートラの紹介では、選手の方が頼もしく思われ、これからの活躍に期待したいと思います。そして、九工大自動車部の伝統を築いて行ってもらいたいと思いました。

自動車部の伝統と言えば KIT Night Rally ですが、ラリー開催のための準備風景などの紹介もあり、非常に懐かしく私たちがラリーを組織した当時のことも思い出されました。一時は存続が危ぶまれるほど部員の人数が少なかった時もありましたが、当時の部員の皆さんの頑張りで、現在もラリーが開催されていることに学生と OB の団結力を感じます。

また、工大祭のたこ焼きは現在でも自動車部の名物になっているようです。

時代とともに自動車部の活動も変わっていき、それぞれに特色ある活動をされていると思います。現役の皆さんにとって、サークル活動は 4 年間もしくは+ $\alpha$ 年間の活動に過ぎないかもしれませんが、自動車部は、長年に亘る歴史ある活動だと言うことを皆さんと共有し誇りにしたいと思います。

最後に、現役の方々は、大学での勉学とサークル活動を両立され、悔いのない貴重な学生生活を送って頂きたいと切に望みます。

## 平成30年度活動報告 (H29/10-H30/9)

OB会 事務局 中西 ( 50)

最終改訂:平成30年10月19日

作成:平成30年10月15日

- 【上期活動実績】** (OB会員敬称略)
- 平成29年 10/9 :【役員会-KITAC】「平成29年度活動・会計報告、平成30年度活動計画(案)・会計予算(案)審議」の件
- 10/21 :【総会前役員会-KITAC】「定例総会時役員会審議事項一覧」により開催
- 10/21-22 :【平成29年(第9回)OB会総会】開催(関西地区主催: 於 KKRホテルびわこ)
- 12/20 :流星29号発行(早田)
- 12/30 :餅つき会(現役との交流)
- 平成30年 1/13 :中京地区部会・新年会開催(金山駅前「九州小町」)  
(川越s47、河野s49、西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、御領h1、小川h1 計8名)  
[http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2018.01-tv\\_obkai.html](http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2018.01-tv_obkai.html)
- 1/27 :関西地区部会・新年会・総会反省会開催(大阪/天六「地魚屋台とつつあん」)  
(中原s39、橋s40、木庭s43、山崎s49、中西s50、孝橋s55、石田s55、三原s58、三好s62 計9名)  
[http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2018.01-kas\\_obkai\\_utiage.html](http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2018.01-kas_obkai_utiage.html)
- 【下期活動実績】** (OB会員敬称略)
- 平成30年 4/12 :関西地区交流散策会  
[http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2018.01-kas\\_obkai\\_utiage.html](http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2018.01-kas_obkai_utiage.html)
- 5/26-27 :ACKスプリングラリー2018(JAF九州ラリー選手権)開催にOB・現役運営参加
- 6/1 :【役員会-KITAC】「現役からの部車購入費用支援依頼に関する審議」の件
- 6/1 :平成30年度上期会計報告
- 6/8 :【役員会-KITAC】「平成30年度活動報告(上期)・会計報告(上期)及び現役支援交流活動・支援金会計報告(上期)」の件
- 6/23 :関東地区部会・懇親会開催(鳳龍クラブにて)(木村s36、門司s37、宮崎s39、佐藤s46、佐伯s50、坂井s52、早田s54、松元s55、津曲s59 計9名)
- 8/16 :部活動援助費上期分(H29.10.1~H30.3.31カンパ分)一括送金  
⇒OB会会計から 112,500円(武地s51)
- 8/20 :全日本エコドライブチャンピオンシップ2018現役応援(中西s50、近藤s54、坂田s54、孝橋s55)  
[http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT07\\_1/20180820\\_eJG1\\_Suzuka\\_K.html](http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT07_1/20180820_eJG1_Suzuka_K.html)
- 9/1 :【役員会-KITAC】「役員人事(関東地区 幹事 退任・交代)審議」の件
- 9/2 :【平成31年(第10回)OB会総会】(九州地区主催)第1回実行委員会開催(準備キックオフ)(戸畑学内にて)(伊東(s44)、藤田(s44)、柴田(s45)、山本(s46)、高見(s48)、牛島(s50)、白水(s57)、高橋(h10)、岩本(h12)、犬丸(h17)、北垣(h22)、森若(h9) 計12名)  
[http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2018.9-qsvu\\_obkai.html](http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2018.9-qsvu_obkai.html)
- 9/2 :第6回現役交流会(現役活動報告・現役交流会/懇親会)  
(OB:伊東s44、柴田s45、山本s46、高見s48、牛島s50、孝橋s55(関西)、白水s57、森若h9、高橋(範)h10、岩本(俊)h12、犬丸h17、北垣h22、岩本h23、石原h24 計14名)  
(現役:河本、金粕、近藤、鶴 監督、今澤 主将、橋本 会計、高木 OB連絡委員、他 計16名)
- 9/26 :メルマガ第4号配信(西原s54、松元s55)
- (ご参考) 10/2 :部活動援助費下期分(H30.4.1~H30.9.30カンパ分)一括送金  
⇒OB会会計から 8,000円(武地s51)
- 10/2 :第6回現役交流会費送金 ⇒OB会会計から10,000円(武地s51)
- 10/13 :【平成31年(第10回)OB会総会】(九州地区主催)第2回実行委員会開催(戸畑区牧山東市民センター)(加藤(敏)s42、伊東s44、柴田s45、山本s46、高見s48、牛島s50、中西s50、山下(能)s54、犬丸h17、北垣h22、石原h24 計11名)
- 10/17 :【役員会-KITAC】「平成30年度活動報告・平成31年度活動計画(案)審議」及び「平成30年度会計報告・会計監査報告・平成31年度予算(案)審議」、並びに「現役交流会開催報告」及び「現役支援活動・支援金決算」の報告の件
- 10/28 :第56回ACK・KIT北九州ラリー現役支援(デイラリー/全九州学生チャンピオンシリーズ)  
(JAF九州ラリー選手権第7戦/JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ第7戦)  
⇒「11/18」に急遽日程変更
- 11/24 :【平成31年(第10回)OB会総会】(九州地区主催)第3回実行委員会開催

## 平成30年度決算報告

1 期間：平成29年10月1日から平成30年9月30日

2 主たる活動(事務局報告ご参照方)

12月に流星29号を発行。

9月2日現役交流会実施

3 決算概要

- ・【収入】会員各位からの振込み(会費、部活動援助費、OB会カンパの計)は、  
円で、予算とほぼ同額でした。皆様のご支援に深く感謝します。
- ・【収入】関西支部総会余剰金は、本年3月中間決算でご承認いただいた通り、  
次回総会準備費に繰り越します。
- ・【支出】31年度への繰越を除く費用小計は、  
円で、30年単年度の収支  
は、  
円の黒字です。
- ・【支出】各項目別には、流星29号の郵送料が、ヤマト運輸の値上げの影響で  
予算を超えましたが、ネット印刷の活用で印刷代を下げ、流星発行の合計費用は、  
予算以下で実行しました。その他の項目も予算以下で実行しました。
- ・31年度への繰越額は、  
円です。これは、予算を  
円上回りました。

平成29年10月1日～30年9月30日

収入	金額	支出	金額
29年度から繰越		振替手数料	
会費		現役交流費	
部活動援助費		流星29号印刷費	
OB会カンパ		同 郵送料	
関西支部総会余剰金		事務費、通信費	
		部活動援助費	
[会員からの振り込み小計]		[費用小計]	
		31年度への繰越	
合計		合計	

\*；現役交流費 円と現役支援金の残金 円は、10月2日に現役口座に振込済。

(参考)平成29年度予算(承認済み額)

収入	金額	支出	金額
28年度繰越		振替手数料	
会費		現役交流費	
現役部活動援助費		流星印刷費	
OB会カンパ		同 郵送料	
		事務費、通信費	
		現役部活動援助費	
		[費用小計]	
		30年度への繰越	
小計		小計	

# 会計監査報告書

平成30年10月1日

明専・九州工大自動車部OB会

会長 本村 殿

平成30年9月30日 明専・九州工大自動車部OB会 会計に関する帳票・領収書などを精査しました。その結果平成30年度の決算報告については、適法・適正に処理されていることを確認しました。

以上報告いたします。

会計監査 田中 

## 平成31年度活動計画(H30/10-H31/9)

最終改訂:平成30年10月24日  
作成:平成30年10月15日

OB会 事務局 中西 (50)

【上期活動計画】		(OB会員敬称略)
平成30年	10/2	:部活動援助費平成30年度下期分(H30.4.1~H30.9.30カンパ分)一括送金 ⇒OB会会計から 円(武地s51)
	10/2	:第6回(平成30年度)現役交流会費送金 ⇒OB会会計から 円(武地s51)
	10/13	:【平成31年(第10回)OB会総会】(九州地区主催)第2回実行委員会開催 (戸畑区牧山東市民センター)(加藤(敏)s42、伊東s44、柴田s45、山本s46、高見s48、牛島s50、中西s50、山下(能)s54、犬丸h17、北垣h22、石原h24 計11名)
	10/17	:【役員会-KITAC】「平成30年度活動報告・平成31年度活動計画(案)審議」及び「平成30年度会計報告・会計監査報告・平成31年度予算(案)審議」、並びに「現役交流会開催報告」及び「現役支援活動・支援金決算」の報告の件
	10/28	:第56回ACK・KITラリー現役支援(テイラリー/全九州学生チャンピオンシリーズ) (JAF九州ラリー選手権/JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ第7戦) ⇒「11/18に急遽日程変更」
	11/24	:【平成31年(第10回)OB会総会】(九州地区主催)第3回実行委員会開催
	12/中	:流星30号発行(早田s54)
	12/末	:餅つき会(現役との交流)

【下期活動計画】		(OB会員敬称略)
平成31年	4/中	:【役員会-KITAC】「平成31年度活動報告(上期)、会計報告(上期)及び現役支援活動・支援金決算報告(上期)の件」
	5/上	:部活動援助費上期分(H30.10.1~H31.3.31カンパ分)一括送金
	8/下	:全日本エコドライブチャンピオンシップ2019(鈴鹿サーキット) 現役参戦 応援

## 平成31年度予算

1 期間：平成30年10月1日～平成31年9月30日

2 予定行事

平成31年9月～11月           OB会総会(九州)  
平成30年12月               流星30号発行

3 予算(案) (円)

収入	金額	支出	金額
30年度から繰越		振替手数料	
会費		現役交流費補助	
現役部活動援助費		流星印刷費	
OB会カンパ		同 郵送代	
		事務費、通信費	
		現役部活動援助費	
		総会準備費+前回繰越	
[本年度収入小計]		[費用小計]	
		32年度への繰越	
合計		合計	

繰越金増加

説明(下表の過去実績参照方)

【収入の部】

【支出の部】

【単年度収支】

OB会収支履歴(30年実績追加)

2015/9/1作成  
2018/10/2最新化

【参考】

収入実績

	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
会費								
現役部活動援助費								
OB会カンパ								
総会余剰金など								
小計								
参考:振込者数								

支出実績

	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
振替手数料								
総会準備費								
流星印刷費								
同 郵送代								
事務費、通信費								
現役交流費、総会参加補助								
現役部活動援助費								
小計								

収支
翌年度への繰越

### H30年度OB会会費、部活動援助費、OB会カンパ振込状況

皆様のご理解とご協力に感謝します。OB会会費は2年に一度 円のお支払いとなりますが、部活動援助とOB会へのカンパは毎年募集しております。

(同封の「振込取扱票」には2年会費をすでに振り込まれているか、明記しておりますのでご確認ください。)

No	科	年	氏名	会費	部活援助費	OB会へ
1		28	山田			
2		31	古場			
3		33	嘉村			
4		33	斉藤			
5		35	山口			
6		36	飯田			
7		37	木村			
8		37	木島			
9		38	犬塚			
10		39	中原			
11		39	吉武			
12		40	橘			
13		40	六代			
14		40	木田			
15		42	芳賀			
16		42	加藤			
17		43	山本			
18		43	木庭			
19		43	宇塚			
20		44	熊本			
21		44	伊東			
22		44	松原			
23		45	八木			
24		46	山本			
25		46	中野			
26		46	佐藤			
27		48	平松			
28		48	古本			
29		48	小泉			
30		48	泡田			
31		49	佐藤			
32		49	河野			
33		49	山崎			
34		50	中西			
35		51	武地			
36		51	白倉			
37		52	安永			
38		52	坂井			
39		54	坂田			
40		54	早田			
41		54	山下			
42		55	網田			
43		55	石田			
44		55	孝橋			
45		55	光成			
46		56	大原			
47		57	白水			
48		57	尾辻			
49		59	大井			
50		62	三角			
51		H1	谷口			
52		H1	山下			
53		H2	藤井			
54		H17	犬丸			
			小計			
			平均			

## 第 10 回 O B 会 総 会 (2019/10/12. 13) の ご 案 内

九州地区幹事 伊東 ( 44)

来年の自動車部 O B 会 総 会 は九州地区での開催となります。

平成 3 0 年 9 月 2 日 第 一 回 準 備 会 が 現 役 ・ O B 交 流 会 の 前 に 九 工 大 教 育 研 究 1 号 棟 で 開 かれ 準 備 実 行 委 員 会 を 設 け 当 日 の 参 加 者 を 中 心 に 実 行 委 員 を 選 任 し 日 程 、 会 場 の 検 討 を 進 め ました。実 行 委 員 長 を 始 め と す る 役 員 は 以 下 の よ う に 選 任 さ れ ました。

幹事	伊東	( 44)			
実行委員長	北垣	( H22)			
副実行委員長	犬丸	( H17)	森若	( H9)	
会計	岩本	( H12)			
実行委員	藤田	( 44)	柴田	( 45)	山本 ( 46)
	高見	( 48)	牛島	( 50)	山下 ( 54)
	白水	( 57)	山下	( H1)	高橋 ( H10)
	石原	( H24)			

- ・ 1 0 月 1 3 日 第 二 回 準 備 会 ( 牧 山 東 市 民 セ ン タ ー )
- ・ 1 1 月 2 4 日 第 三 回 準 備 会 ( 牧 山 東 市 民 セ ン タ ー )
- ・ 第 二 回 、 三 回 の 準 備 会 を 経 て 日 程 、 会 場 が 決 定 さ れ ました。

開催場所 北九州市八幡区 ダイワロイヤルホテル (アクティブリゾート八幡)  
 開催日時 2 0 1 9 年 1 0 月 1 2 日 ( 土 ) 1 3 日 ( 日 )  
 1 5 時 ~ 受 付 開 始  
 1 7 時 ~ 役 員 会 1 8 時 3 0 分 総 会  
 1 9 時 ~ 2 1 時 懇 親 会  
 2 1 時 ~ 二 次 会 イ ベ ン ト [ 予 定 ]  
 翌日、希望者を対象に以下を実施予定です。  
 ① ゴ ル フ ( 会 場 未 定 ) ② レ ー シ ン グ カ ー ト ( 北 九 州 カ ー ト ウ エ イ )

2 0 1 9 年 5 月 に 案 内 状 発 送 の 予 定 で メ ー ル を 主 体 に 連 絡 な き 場 合 は 郵 送 し ます。

今 後 も 準 備 会 の 開 催 を し て い きます、O B の 皆 様 の 数 多 くの 参 加 を お 待 ち し て い ます。



第 2 回 目 準 備 委 員 会



第 3 回 目 準 備 委 員 会

九工大を卒業し、京都に住み始めて50年以上が過ぎました。市内の西域に住まいを構えているため、今日も北西方向に「愛宕山(あたごさん)」の瘤を持つような山頂が垣間見られます。「流星」編集室から寄稿作成の要請を受け、京都での我が人生の半生を振り返ってみることにしました。

高校時代から車に好奇心を持っていたため、入学するや即自動車部に入部。そして4年後、京都に住んでみたいという漠然とした思いと、自動車会社に勤めようかとの考えも含めて就職先を物色中、当時の新三菱重工(株)に「京都製作所」という工場があって、自動車のエンジン/トランスミッションを生産していることを知り、入社を決意。京都に住む第一歩のスタートとなりました。設計業務を希望して望みがかない、トランスミッションの開発設計課に配属されましたが、入社後も自動車ラリーの醍醐味は忘れがたく、同期や前後の入社仲間の皆さんの中から大学の自動車部出身者を募って、ラリー同好会なるものを結成。中古で購入した我が車「コルト1500」をラリー仕様に仕立てて、ラリーシーズンになると関西地区の各大学自動車部が主催するナイト・タイムラリーに毎週出場する明け暮れで、今もいくつかの優勝トロフィを陳列ケースに飾っています。そしてついには病昂じて、京都製作所内でも社員の皆さんにルールを説明して、日曜日を利用した昼間のタイムラリーをも開催する始末。今度は京都郊外の山道を走り回ってコース探しに熱を入れる毎日でした。やがて、三菱自動車本社が管轄するCMSC(コルトモータースポーツクラブ)の仲間にも入れてもらい、「CMSC・京都」なる名前を付与して、乗鞍岳など中部山岳地帯を走破する「日本アルペンラリー」にも参加したことも今となっては楽しい思い出となります(上位入賞は無理でしたが・・・)。

仕事の面では、乗用車「三菱ギャラン」に次ぐ新規開発車両となった四輪駆動車「パジェロ」において、四輪駆動用トランスミッション開発設計の主担当者となり、後輪と前輪への駆動力配分をチェーン駆動とする機構を新規採用。チェーンの振動騒音の減少に苦し

む開発経験も味わったことでした。やがて、このパジェロは「パリ・ダカールラリー」へ新規参戦することとなって、最初は市販車クラスに参戦していたものの、総合優勝を狙おうということから改造車クラスへ挑戦。このため、年々エンジンの馬力アップに対応してそれに見合う四輪駆動用トランスミッションの補強策に取り組む日々が続き、パリ・ダカールラリーに出場している期間は、戦績よりもトランスミッションのトラブルが発生しないようにと祈る毎日であったことも懐かしい思い出です。そして、ついにトランスミッションの補強対策も限界に達し、さらなるエンジンの馬力アップに対応するにはトランスミッションの新規開発か他社製のものを購入するしかないとして、今度は欧州のトランスミッション製造メーカーを訪ねまわることも体験。その折には、丁度フィンランドで開催されていた「WRC・1000湖ラリー」の実戦走行風景や最終ゴール地点での華やかな祝賀会にも参列する機会も得たことでした。食卓にゆでたザリガニの山盛りの御馳走に仰天、さすがに森と湖の国だと実感した記憶も残っています。



そして、会社リタイアの時期を迎え、仕事に追われて時間を掛ける余裕のなかった「京都をもっと知ろう」という思いがふつふつと湧き上がり、心機一転して車を使わず京都市内全域を歩いて巡ろうと決意。幸いに同じ趣味を持つリタイア仲間たちとグループを作ることができて、2ヶ月に一回のペースで史跡探訪のウォーキング会を開催することになりました。そして十余年が経過、現在も歩きまわっています。近年は、関西在住の自動車部OBの皆さんと共に京都地区へ案内し、奈良市近郷・山の辺の道あたりへ一緒に出掛けて行って史跡巡りなどを楽しんでいることも付け加えておきます。

更には、京都・佛教大学が開催している「能へのいざない」という市民講座にも受講を開

始して、京都の地を舞台した「お能」を鑑賞し、どんな能の物語が京都の地に存在するかも知識吸収。これも10年目を迎え、最近はさらに歌舞伎の舞台となっている京都の場所も知ろうと、別の市民講座の受講も開始しました。けれども、1200年の都の歴史の奥深さに対してはまだまだ入り口にいるような思いがしており、身体がつづく限り京都の歴史を探り続けたいと考えています。

今回の寄稿者には、前記のパリ・ダカールラリーの実戦現場隊長として活躍した名古屋市在住の「47川越氏」にパリ・ダカ出場のエピソードなどを投稿してくれることを期待して筆を置きます。

以上

関西地区では懇親を兼ねて、2008年より歴史地区の散策を重ねてきた。当初、京都在住の中原さん(39)が企画、案内役を担当して下さり、今回の散策会は12回目の開催となった。その間、2015年から企画、案内役が孝橋さん(55)に代わり、今回も、丁寧な下見を踏まえ充実した企画で、散策を堪能させて頂きました。

今回は、2018年4月12日(木)に、「奈良・飛鳥の地散策」を実施しました。当日は、中原さんご夫妻、山崎さん(49)、孝橋さん、木庭の5名参加で、体調不良による欠席などで例年と比較し少ない参加人員でした。

午前中は、近鉄・橿原神宮駅の集合の後、第29代天皇の「欽明天皇陵墓」、「高松塚古墳」、および、「キトラ古墳」を見学し、郷土料理レストラン「奥明日香さらら」にて昼食。午後は、全山を彩るシャクナゲの花が満開であった「岡寺」、蘇我馬子の墓と伝えられる「石舞台古墳」、聖徳太子が創建した「橘寺」、さらに日本最古の釈迦如来像がある「飛鳥寺」を見て回り帰途につきました。

今回散策した飛鳥の地は、約1400年前に約1世紀にわたって政治・文化の中心である帝都が営まれ、日本の国家成立の舞台となったことから、その昔に思いを巡らし、また多くを学ぶ散策会となりました。お世話頂いた孝橋さんが大半のルートを車に乗せて頂いたにもかかわらず、歩いた歩数は約17,000歩となりました。

11月には、818年に弘法大使(空海)が開山した高野山の寺々を訪ねる予定です。

<参考・散策会の歴史>

(1)2008/11「京都・東山地区散策」	(7)2013/04「京都・山科地区の桜見物」
(2)2009/04「京都・嵯峨野地区散策」	(8)2014/11「京都・伏見地区散策」
(3)2010/11「京都・東山地区紅葉狩り」	(9)2015/05「奈良・山の辺の道散策」
(4)2011/05「奈良・葛城山のつつじ見物」	(10)2016/04「大阪・太子町散策」
(5)2012/04「京都御所見学」	(11)2017/11「和歌山・九度山町散策」
(6)2012/11「奈良・談山神社と山の辺の道散策」	



坂井さんより、九州工大の学生フォーミュラチーム（自動車部とは直接的な関係はありません。）の参加支援を行っていることとの連絡があり、これまでの坂井さんの経歴と支援内容の一部（メール内容）について、紹介致します。

# Sakai's Motor Racing history



**坂井**  
 生年月日：  
 出身地：  
 九州工業大学  
 1978年; 日産ディーゼル入社  
 1985年; Mugen入社  
 2000年; HONDA入社  
 2018年; HRD Sakuraを退職

'77

'78~'83

'83~'85.6

九工大卒業  
 機械工学科  
 ほぼ自動車部活動  
 がメイン

日産ディーゼル  
 開発本部

日産海外本部



小型機関設計にて、SD22:渦流室式Diesel  
 エンジンの機能パーツ・動弁系設計した。  
 Swirl-Chamber/Cam/Cam-Lifter/Valve

ここで学んだ貿易実務や海外との交渉術  
 が、後のF1活動に於ける人・物・Logistics  
 に多いに役立った。

1

Mugen活動時期

Honda Racing活動時期

Tyrrell-Honda

FootWork-ARROWS

Lotus

Ligier

Jordan MUGEN-Honda

BAR/HRF1 Test Team

SAF1

FN/S-Formula

'1991

'92~'93

'95~'97

'98~2002

'03~'05

'05.11~'06.5

'06~'13

'14~'2018



GT500-Tech部会  
 も担当



件名: FW: 【KIT-Formula】?=>Sus/Frame 対策 (3月レポート&17-12月レポートより)

KIT-Formula サス班 / ■■■さん、及びKIT-Formula フレーム班 / ■■■さん、

先の3/22シェイクダウン走行において、多くの問題がみつかった。一つ目に、アームロッド類のフレーム側取り付け剛性の不足 ↓、二つ目にリアのストローク不足が・・・に対する、\*Rear-End フレームの剛性 Up/補強対策 と\*リアサス(Rocker-Arm 揺動角)=Wheel ストローク Up の進捗は如何ですか? 状況をお知らせ下さい。

【ガチガチには剛性 Up できなかった場合の対処療法・サス Setting 法】

1. 先ずはサス Geometry を、添付した”ピッチ Center と重心の関係”に示すような状態にして。

2. 下記のような負荷/サス動き状態の過渡特性

・リヤ Sus バンプ

(12月 Repo より---> トーチェンジについて2017年度マシンは前後輪ともバンプトーアウト特性になっていたため、今年度はバンプ時フロントーアウト、リアトーイン特性としました(Fig.7、 Fig.8)。<===特にこっちが重要ポイント

・Braking 時の Brake Torque 負荷

・コーナーBottom からの立ち上がり加速 Torque 入力/加速時のサス入力

以上、3つの過渡状態に対して&剛性 Up した剛性値/撓み量において、\*\*リヤ Toe は常に Toe-IN~戻っても “0セロ” まで\*\*となるように、1G 状態=イニシャルの Toe 量を求めて Setting して置く。

以上をお奨めします。

(重要なのは、走行中の如何なる状態・リヤサス負荷においても常に Toe-IN 側である事。)

また、空力とサス特性の関係での重要ポイントも参考にして下さい。

・車輛姿勢(ピッチ)変化と空力(Df)利点/Rr-Wing 取り付け利点の考察のところは、

\*車体バネ上重心とピッチ Center 位置関係による 車体バネ上重量の荷重移動と

\*空力重心=CoP と姿勢変化(制動 Fr ダイブ/加速ピッチング)による CoP 移動を上手く&美味しくバランスさせる為に Rr-Wing も取り付けることにした。と言った方が良いでしょう。



## 日産ヘリテージコレクションを訪問して

早田 ( 54)

昨年の「いすゞプラザ」で旧車を見て、懐かしさと感動を覚え、今年は「日産ヘリテージコレクション」に行ってきました。

「日産ヘリテージコレクション」は、神奈川県の日産座間事業所の中にあります。古いものでは1930年代の生産車から歴代のレースカーまで、日産のオンロード、オフロード両面の歴史を物語る車両など、総勢約400台の記念車を所蔵し、うち常時約300台を展示しているそうです。名車たちのほか、モータースポーツで優秀な成績を収めた車両や、東京オリンピックで聖火を運んだ車両、世界初・日本初の技術や話題性の高いモデルなどを保管していました。

見学日は不定期、入場無料ですが、休日の見学もあり、ウェブからの申込みとなります。私は休日を避けて、「たっぷり自由見学&エンジン始動あり」の平日月曜日のコースにいきましたが、ほぼ定員の40名はいました。展示車は、懐かしいものがたくさんあり、あっという間に1時間が経ちました。

私が学生時代に車庫に集まってきた懐かしい車輛の写真を載せてみました。(皆さん、当然、全車の車名分かりますよね。) いずれも実働車だそうです。もちろん、スカイライン、フェアレディZと有名所は、たくさん展示されていましたが、残念ながら、私が社会人となって最初に購入したパルサーはありませんでした。

トヨタ博物館も行ったので、あとは、ホンダとスバル、マツダに行ってみたいものです。

<日産ヘリテージセンター見学>

<https://nissan-heritage-collection.com/TOUR/>



## 会員名簿

本会員名簿は個人情報となりますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

- ・住所が空欄の方は、連絡方法がございません。ご存知の方がいらっしゃいましたら、ご本人様に、会誌担当の早田へ連絡(連絡先は35ページ右下を参照)していただくようお願いいたします。連絡先は流星の配布または、自動車部OB会の連絡のみに使用いたします。
- ・住所やEメールアドレスに変更がある方、氏名／住所の記載を希望しない方も、ご連絡下さい。

【物故者】      【会員名簿】

2018/12/1

## 【編集後記】

OB総会のない年の流星ですが、みなさんのご協力もあり、前回同様36ページとなりました。今後も皆様からの寄稿が増えて、編集が楽しみに、また、読者の皆さんも楽しめるようにしていきたいと思います。(早)



明専・九州工業大学自動車部OB会ホームページ

<http://himaob7.kagebo-shi.com/index.html>

一般公開部分は、どなたでも見ることができます。

過去の自動車部資料から現在のOB会の活動まで幅広くカバー、見応え十分です。

管理者:HP担当役員 近藤 ( 54)

発行日	2018年12月20日
発行者	九州工業大学賞善会自動車部 主将 原田 明専・九州工大自動車部OB会 会長 木村 ( 36)
編集者	早田 ( 54)

口座番号